

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 03 ICTを活用した地域情報化の推進

施策担当職・氏名	企業振興課長 熊谷 和久
-----------------	--------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	迅速で、正確な情報の伝達を図るためのICTを活用した地域情報化の推進とコミュニティ形成過程や災害時の情報の収集、伝達を促進するため、大学や企業等と連携のもと地域情報化方針等を検討します。併せて、ICTの活用を促進するため、情報リテラシー向上のための人材育成を推進します。
--	---

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合 単位 %	40.5	42.5	45	47.5	50	52.5	-	
			44	41.5	0	-	-	0.0	
2	幸福 広報やインターネット等で地域の情報を収集・発信している人の割合 単位 %	23.2	24	26	28	30	32	-	
			26.5	22.5	0	-	-	0.0	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成28年度	平成29年度 (見込)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	4年後
1	8168 デジタルディバイド解消事業 光ブロードバンド利活用世帯普及率 単位 %	目標値	54	55	56	57	58	59	59
		実績	58	62	-	-	-	-	-
2	12101 地域ICT活用事業 アプリケーションダウンロード数 単位 件	目標値	1,000	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,400
		実績	1,102	0	-	-	-	-	-
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 03 ICTを活用した地域情報化の推進

施策担当職・氏名 企業振興課長 熊谷 和久

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

ICT情報基盤は基本のインフラであり、市内全域を光ファイバー地域として整備しています。また、様々な情報基盤が発達する中で住民への情報提供手段の充実と即時性を確保するため、岩手県内の自治体として初めてスマートフォン向けのアプリケーション「滝沢NAVI」を構築し提供しています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

ICTの利活用が広く市民生活や経済活動に浸透しており、生活に不可欠となっています。暮らしの様々な場面でICTが活用されており、様々な場面での活用が検討されてきています。情報基盤と同時に情報の内容や伝え方など情報コンテンツの重要性が増しています。更には、近年SNSのように、誰もが情報を提供できる時代であり双方向に捉える時代となっています。また、ICTからIoTへと大きく変化しており、更なる広がりを見せています。

情報システムの活用は、少子高齢化社会、グローバル化、地域固有文化の伝承、環境など社会経済活動の大きな基盤となっており、近年のオープンデータやビックデータの議論にもあるように行政の率先した取り組みが大きな役割を果たします。

(3) 基本施策との関連性

基本施策である「企業集積と産学官連携の推進」において、本施策は産学官連携の具体的な計画を示すものです。滝沢市の強みであるIT企業の集積と岩手大学ソフトウェア情報学部の立地を生かすもので、地域の情報化の推進により市民の生活利便性やコミュニケーションの促進、災害時の情報伝達など様々な部分でICT、IoT利活用が必要となっています。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

迅速で、正確な情報伝達を図るため、通信基盤、デバイス、コンテンツなど様々な視野から情報伝達手法を検討する必要があります。また、情報は提供するだけでなく、コミュニティの形成や災害時の情報収集、伝達など双方向システム構築の検討が必要であることから、これらを含めた情報化方針等を検討します。また、併せて、ICT活用の促進を図るため、情報リテラシー向上のための人材育成を進めます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

通信基盤、デバイス、コンテンツなど様々な視野から情報伝達手法と情報リテラシー向上のための方針を検討するとともに、スマートフォン向けのアプリケーション「滝沢NAVI」の情報の充実を図ります。また、市民の生活の向上のため新たな情報の仕組みについて岩手県立大学やinove入居企業とも連携を図りながら継続的に検討します。

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

通信基盤、デバイス、コンテンツなど様々な視野から情報伝達手法を検討することを優先に検討するとともに、スマートフォン向けのアプリケーション「滝沢NAVI」の情報の充実を図ります。また、市民の生活の向上のため新たな情報の仕組みについて岩手県立大学やinove入居企業との連携について優先的に進めます。

